

新たな総合計画策定のための

町民意識調査 結果概要

平成20年6月

厚岸町 まちづくり推進課



町民意識調査の結果概要

1. 調査の目的

この調査は、新たな総合計画の策定にあたり、町民と行政が一体となって計画を作りあげていくための一つ的手段として、現在の生活に関する満足度や今後の重要度、重点的に取り組むべき施策など、これからのまちづくりの方向性や施策の優先度を把握し、その結果を計画に反映させるために実施した。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

町内に在住する15歳以上の町民から、地区・男女・年齢階層別に無作為に2,000人を抽出して対象とした。

(2) 配布・回収方法

郵送により配布し、回収についても料金受取人払いによる郵送で回収を行った。

(3) 調査時期

平成20年2月1日に発送し、平成20年3月15日までの投函とした。

3. 調査の内容

全13問からなるこの調査票を次の8項目に分類して概要をまとめた。

- § 1 回答者の属性
- § 2 生活に関する評価と今後の期待
- § 3 産業振興の現状と今後の方向性
- § 4 厚岸町への思いと今後の居留意向
- § 5 厚岸町の現状と目指す姿
- § 6 分野ごとの優先施策
- § 7 協働に関する意向
- § 8 行財政運営に関する意向

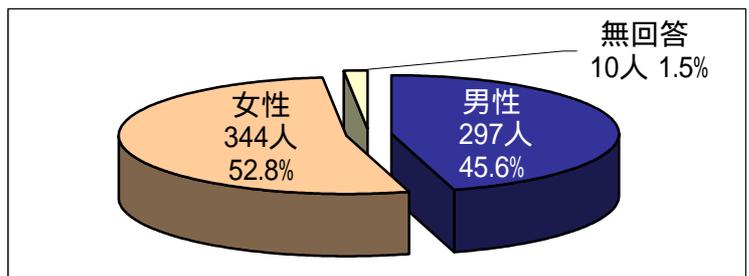
4. 回収結果

- (1) 配布数 2,000票
- (2) 回収数 651票
- (3) 回収率 32.55%

【§ 1 回答者の属性】

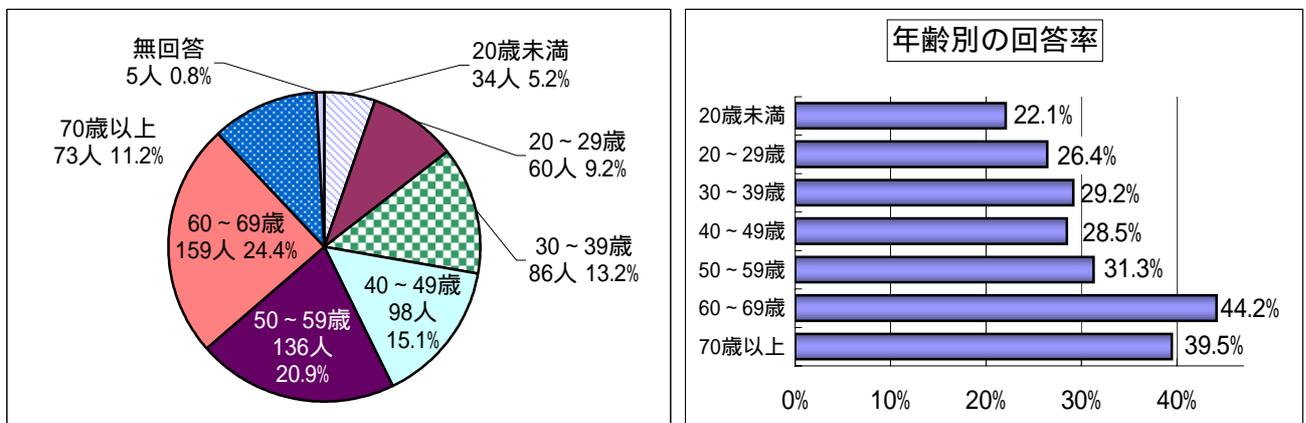
【問1】 ア 回答者の「性別」

回答者の性別は、「男性」が45.6%、「女性」が52.8%で、やや女性が多くなっている。



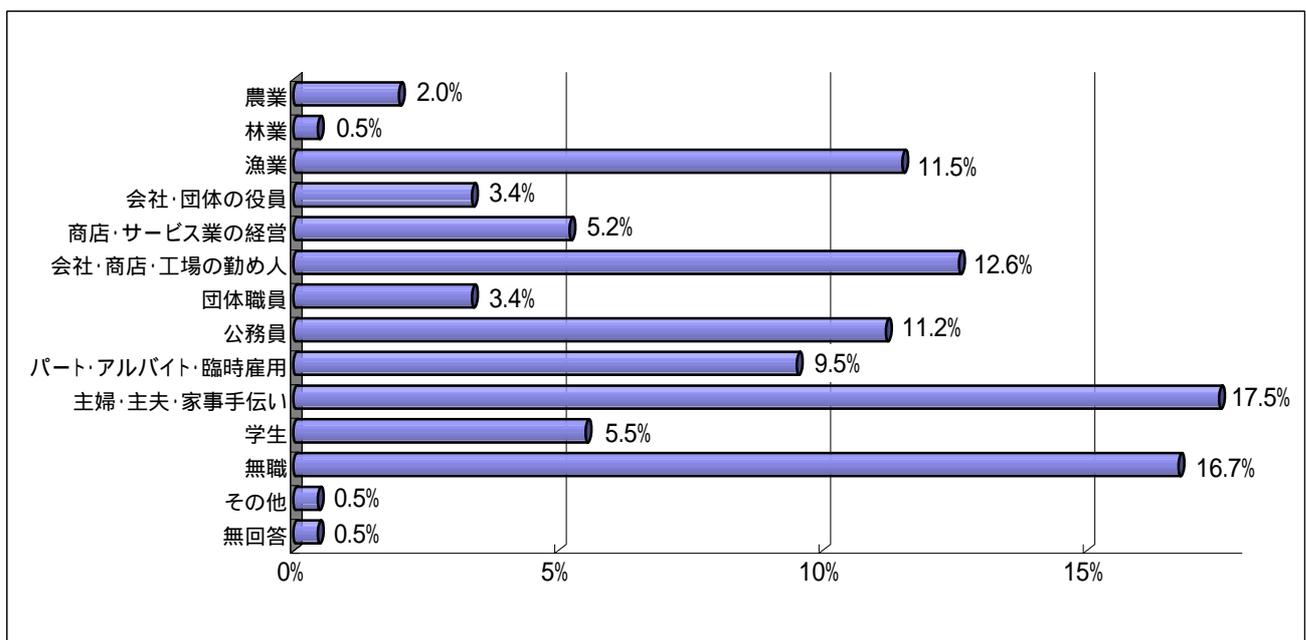
【問1】 イ 回答者の「年齢」

回答者の年齢構成では、割合の高い順に「60～69歳」24.4%、「50～59歳」20.9%、「40～49歳」15.1%となっている。年代別の回答率については、「60～69歳」44.2%、「70歳以上」39.5%、「50～59歳」31.3%となっており、高齢者の回答割合が高く、関心の高さがうかがえる。



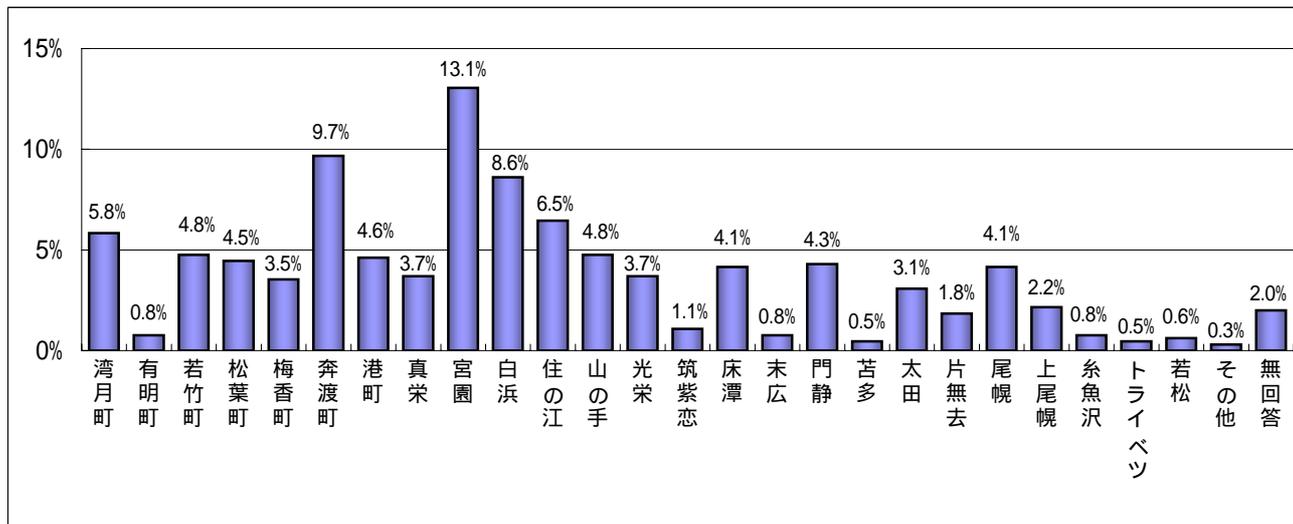
【問1】 ウ 回答者の「職業」

「主婦(夫)・家事手伝い」が17.5%、「無職」が16.7%と高い割合になっている。「無職」が多いのは全回答者の35.6%が60歳以上であることが要因と考えられる。次いで「会社・商店・工場の勤め人」12.6%、「漁業」11.5%、「公務員」11.2%となっている。



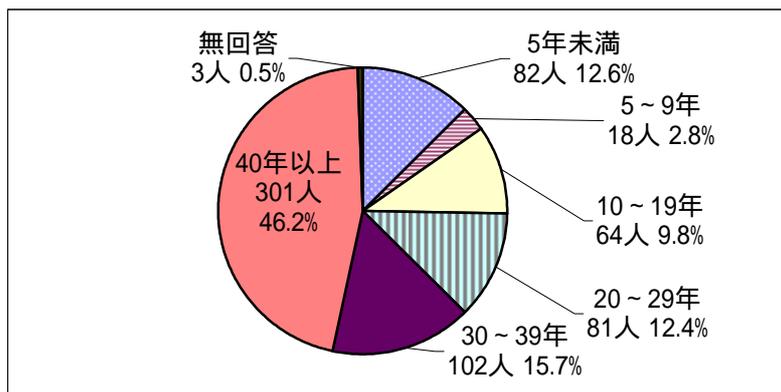
【問1】エ 回答者の「現在の居住地」

回答者の地区別構成比は、「宮園」が13.1%と最も割合が多く、次いで「奔渡町」が9.7%、「白浜」が8.6%となっている。地区別人口により無作為に抽出した結果、厚岸町の地区別人口割合とほぼ同様となっている。



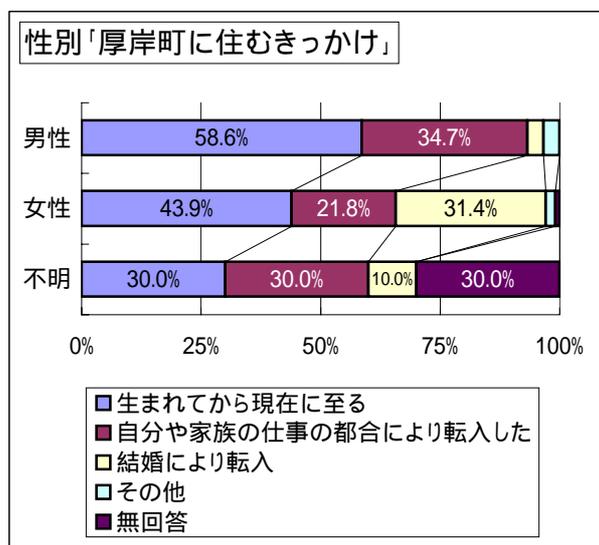
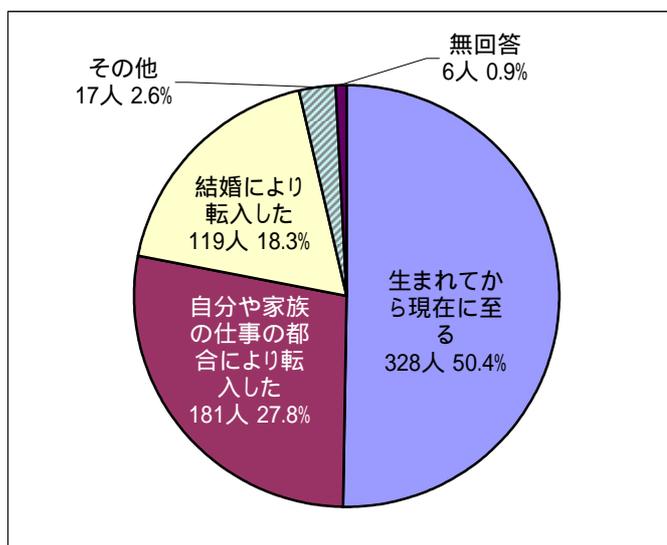
【問1】オ 回答者の「厚岸町での居住年数」

厚岸町に「40年以上」住んでいる人が46.2%とほぼ半数を占め、次いで「30～39年」が15.7%、「5年未満」が12.6%となっている。



【問1】カ 回答者の「厚岸町に住むきっかけ」

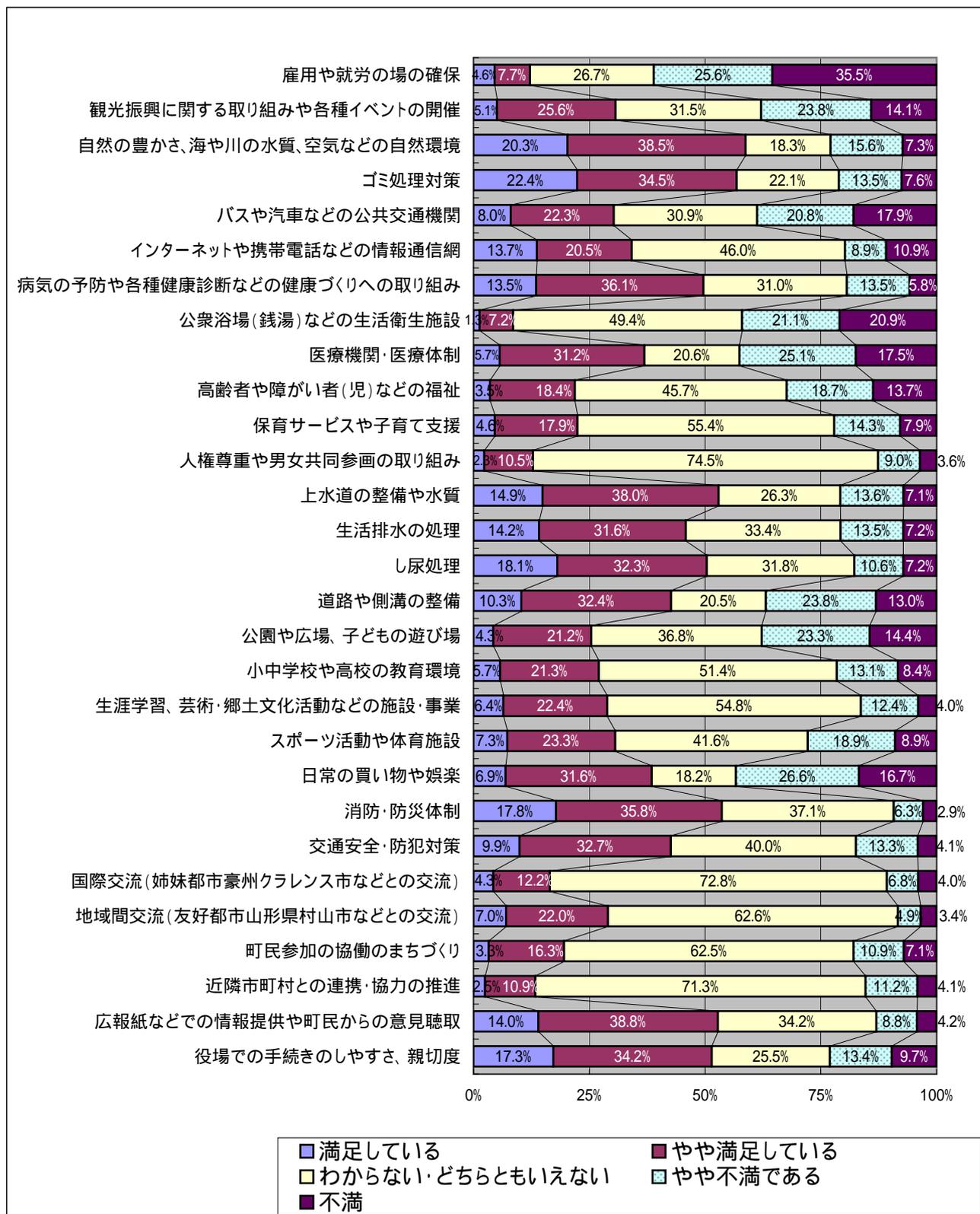
「生まれてから現在に至る」と回答した人が50.4%と半数を占めている。性別で比較しても男性が58.6%、女性が43.9%と最も高い割合となっている。また、次に多いのは、男性で「自分や家族の仕事の都合により転入した」34.7%に対し、女性では「結婚により転入した」31.4%となっている。



§ 2 【生活に関する評価と今後の期待】

【問2】(1) 生活に関する「現在の満足度」

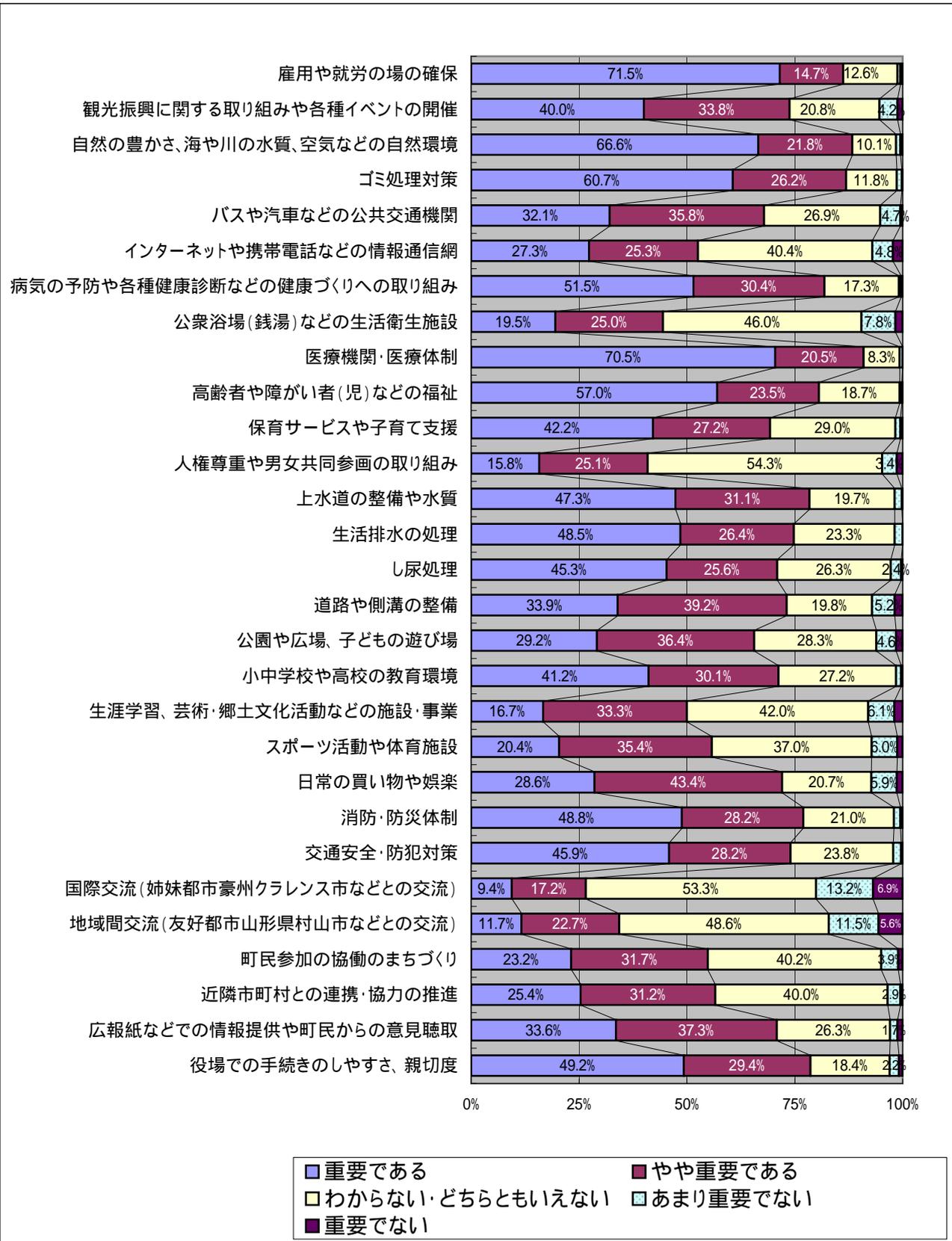
「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合では、「自然の豊かさ、川や海の水質、空気などの自然環境」が55.6%と最も高く、次いで「ゴミ処理対策」54.2%、「消防・防災体制」50.8%、「上水道の整備や水質」50.1%の順になっている。「不満である」と「やや不満である」を合わせた割合では、「雇用や就労の場の確保」が57.6%と最も多く、次いで「日常の買い物や娯楽」41.3%、「医療機関・医療体制」40.4%、「公衆浴場(銭湯)などの生活衛生施設」39.2%となっている。



(注) 無回答を除いて集計した

【問2】(2) 生活に関する「今後の重要度」

「重要である」と「やや重要である」を合わせた割合では、「医療機関・医療体制」が83.7%と最も高く、次いで「自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境」が81.6%、「雇用や就労の場の確保」が80.0%、「ゴミ処理対策」が79.4%となっている。ほとんどの項目で重要であると感じている人の割合が高くなっているが、「国際交流」と「地域間交流」については重要だと感じる人の割合が少なくなっている。



(注)無回答を除いて集計した

【問2】(3) 生活に関する「現在の満足度」と「今後の重要度」の関係(加重平均による比較)

【加重平均】

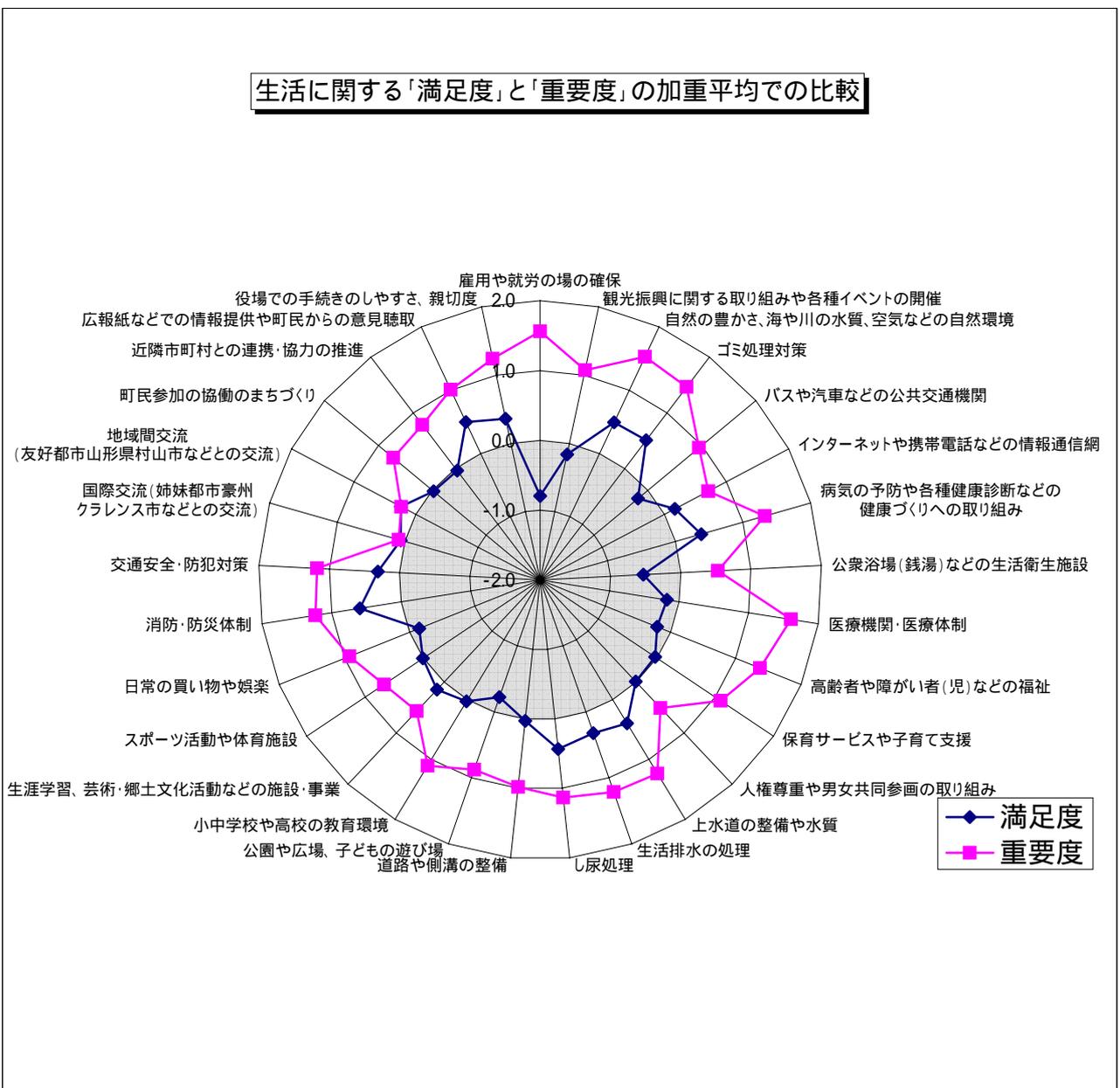
・「満足」と「重要」に+2、「やや満足」と「やや重要」に+1、「やや不満」と「あまり重要でない」に-1、「不満」と「重要でない」に-2、「わからない・どちらともいえない」に0の加重値を与え、回答者数によって平均値を算出したものを「加重平均」といいます。

・数値の範囲は-2から+2の間で、中心(-2)に近いほど評価は低く、外側(+2)に近いほど評価は高い、とみます。

加重平均による比較では、満足度が低く重要度が高い状況が顕著に現れている「雇用や就労の場の確保」のほか、「医療機関・医療体制」と「高齢者や障がい者(児)などの福祉」については満足度と重要度の開きが大きく、今後の重点的な取り組みが求められていることがうかがえる。

一方、「自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境」や「ゴミ処理対策」、「消防・防災体制」などについては、満足度と重要度がともに比較的高いことから、いずれもある程度評価されており、今後も継続した取り組みが求められていると考えられる。

生活に関する「満足度」と「重要度」の加重平均での比較



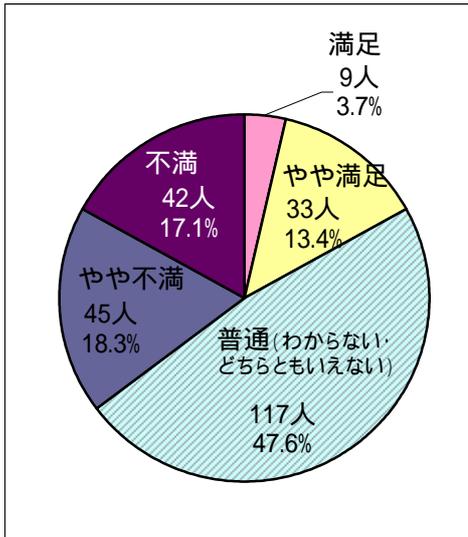
(注)無回答を除いて集計した

§ 3 【産業振興の現状と方向性】

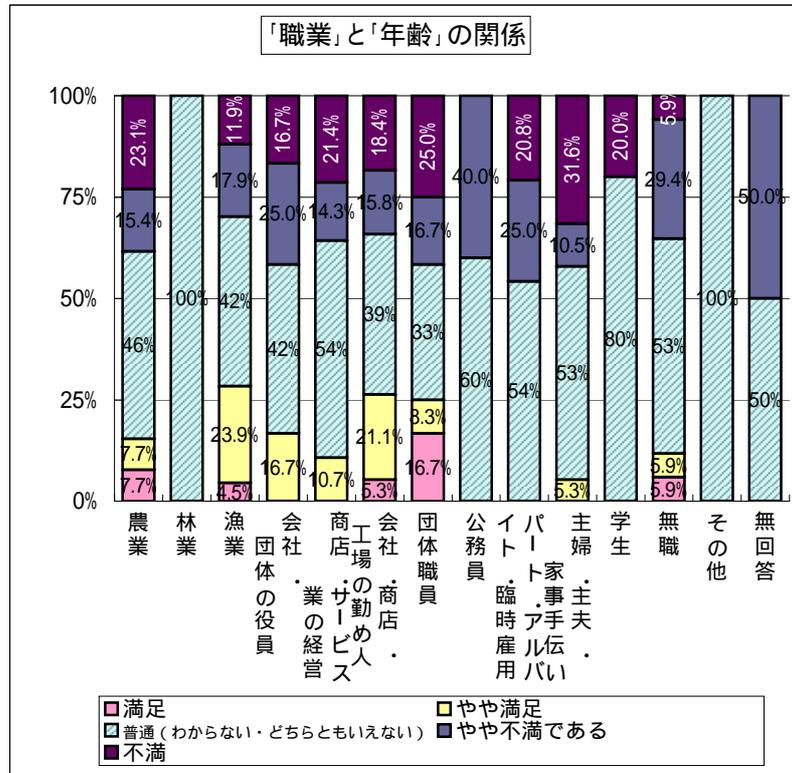
【問3】 ア 回答者のうち農業・林業・水産業・商業・鉱工業・観光関連業の方における町の施策の満足度

産業関連分野に関わる人の満足度については、「普通」と回答した人が47.6%と圧倒的に多く、ほぼ半数を占めている。「不満」「やや不満」が35.4%で、「満足」「やや満足」と回答した割合のおよそ2倍となっている。

職業別にみると、「パート・アルバイト・臨時雇用」では「満足」または「やや満足」は皆無であるほか、回答者数の多かった「漁業」では、「満足」「やや満足」と、「不満」「やや不満」の割合がほぼ同じとなっている。



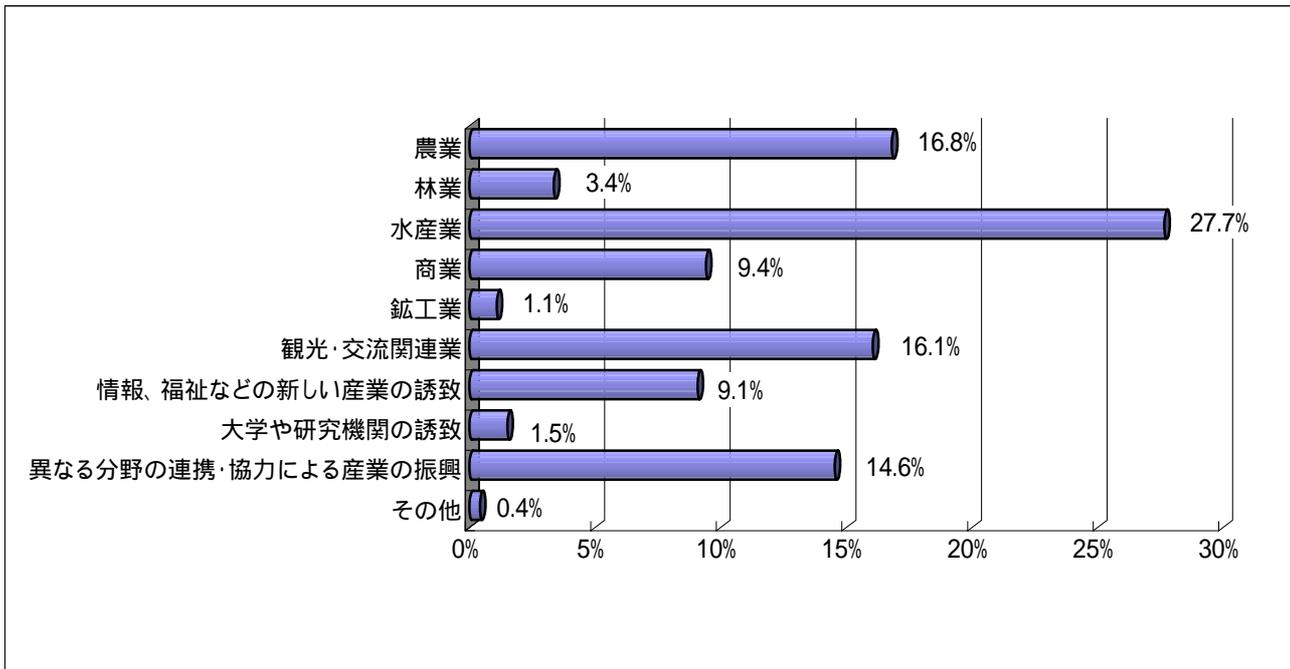
(注)無回答を除いて集計した



(注)無回答を除いて集計した

【問3】 ア 回答者のうち農業・林業・水産業・商業・鉱工業・観光関連業以外の方で、特に力を注ぐべき産業分野(3つまで選択)

産業関連事業に関わる以外の方が考える今後力を注ぐべき産業分野については、「水産業」が27.7%と最も高くなっている。次いで「農業」16.8%、「観光・交流関連事業」16.1%、「異なる分野の連携・協力による産業の振興」が14.6%となっている。

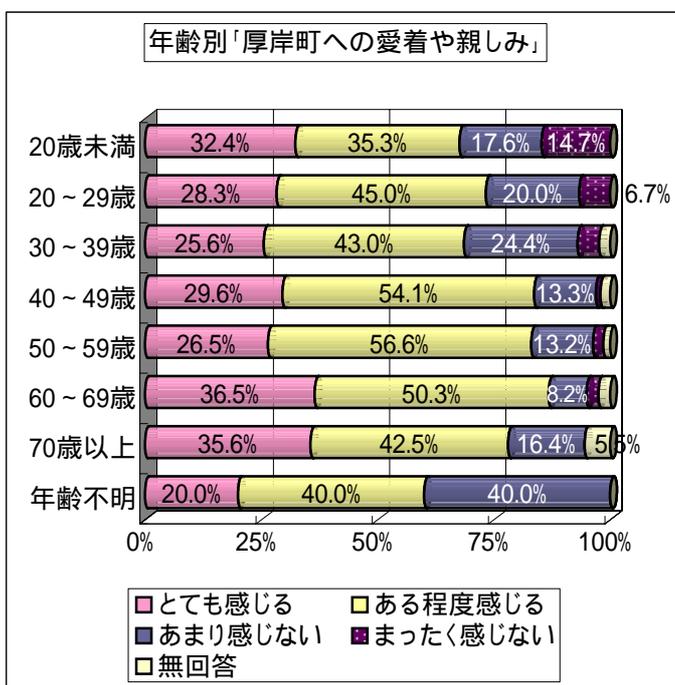
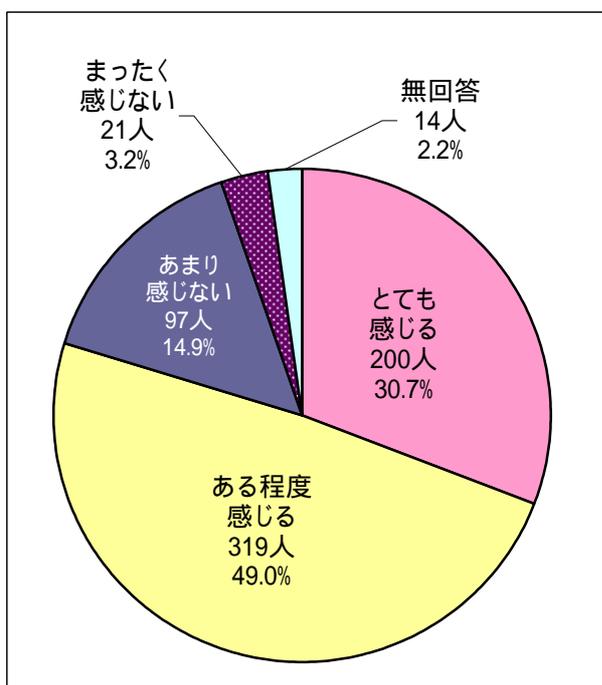


(注)無回答を除いて集計した

§ 4 【厚岸町への思いと今後の居留意向】

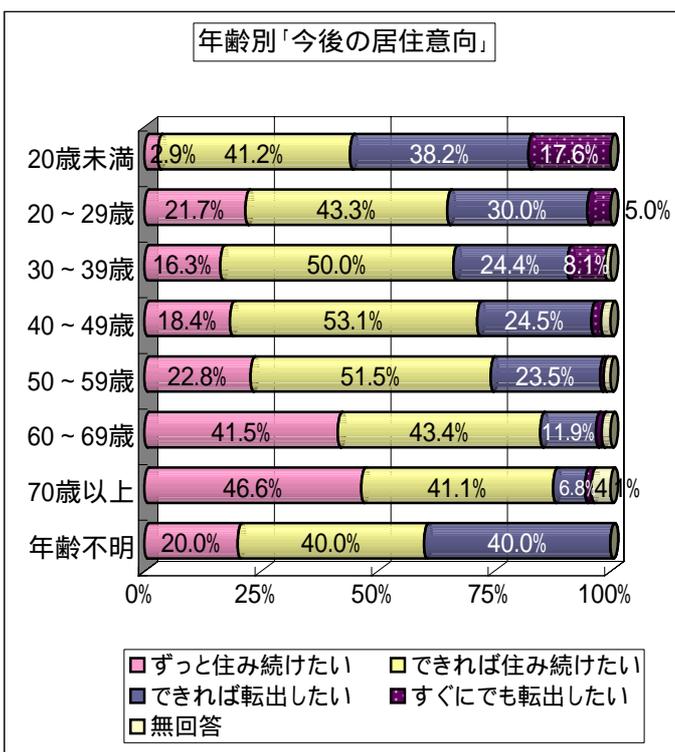
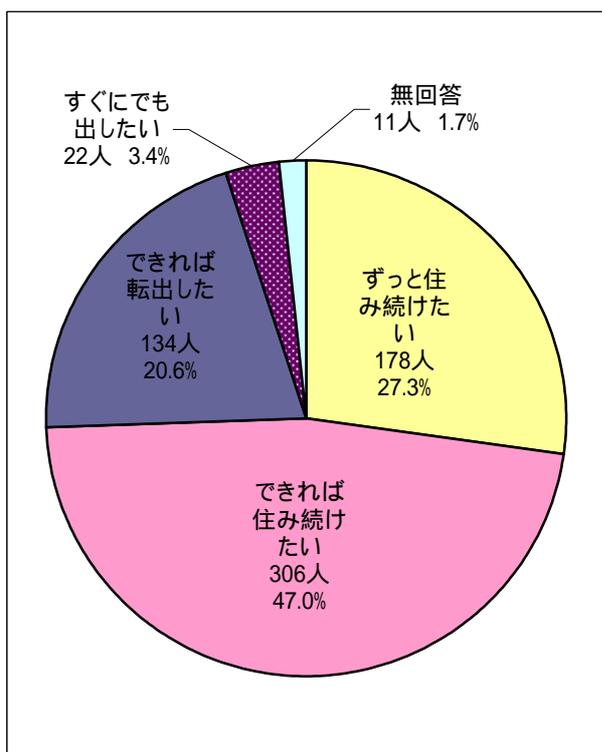
【問4】 ア 厚岸町に愛着や親しみを感じますか

厚岸町への愛着や親しみについては、「ある程度感じる」と回答した人が49.0%と最も多く、「とても感じる」と合わせると79.7%を占めている。



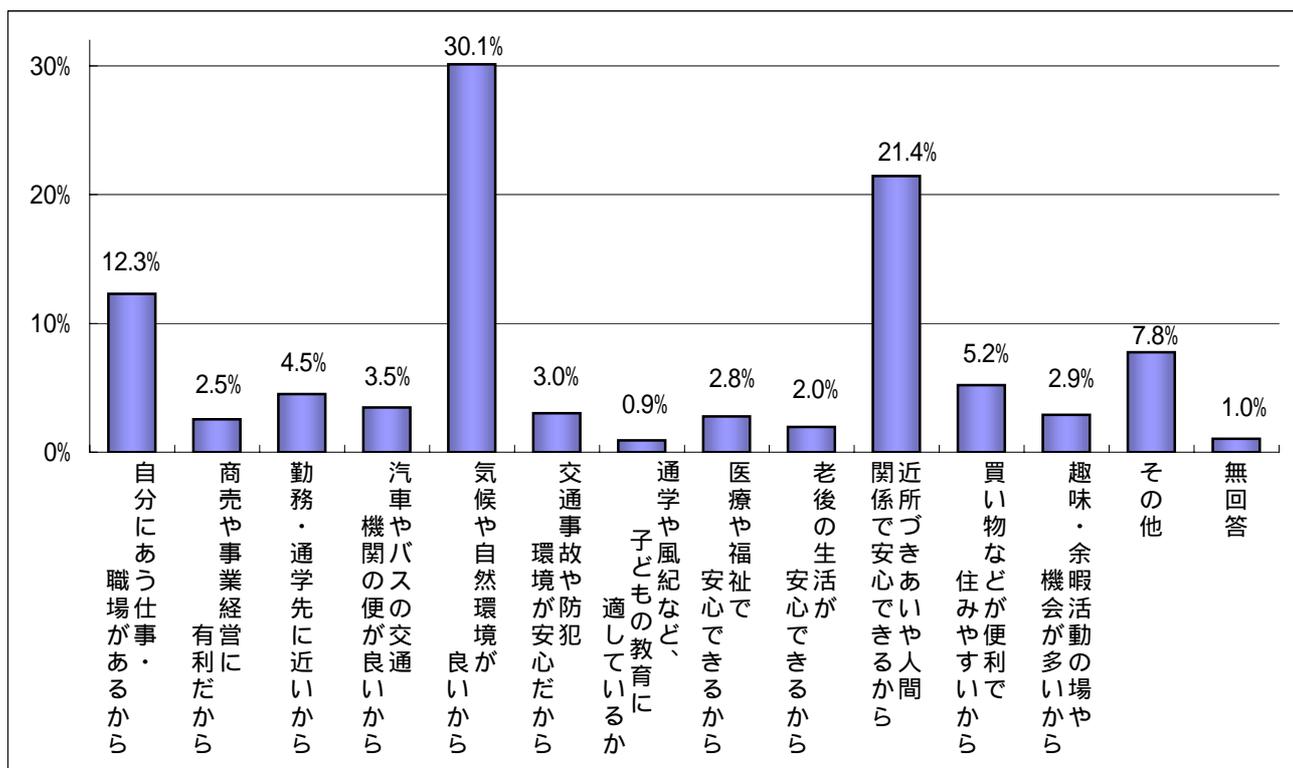
【問4】 イ これからも厚岸町に住み続けたいと思いますか。

「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」と思う人が74.3%と高い割合になっている。年齢別でみると、20歳未満は前の設問で厚岸への愛着や親しみを感じている人が約6割を超えているが、「転出したい」割合が5割を超え高くなっている。また、30歳以上は年齢が高くなるにつれて「住み続けたい」と思う人の割合が高くなり、70歳以上では約9割が「住み続けたい」と答えている。



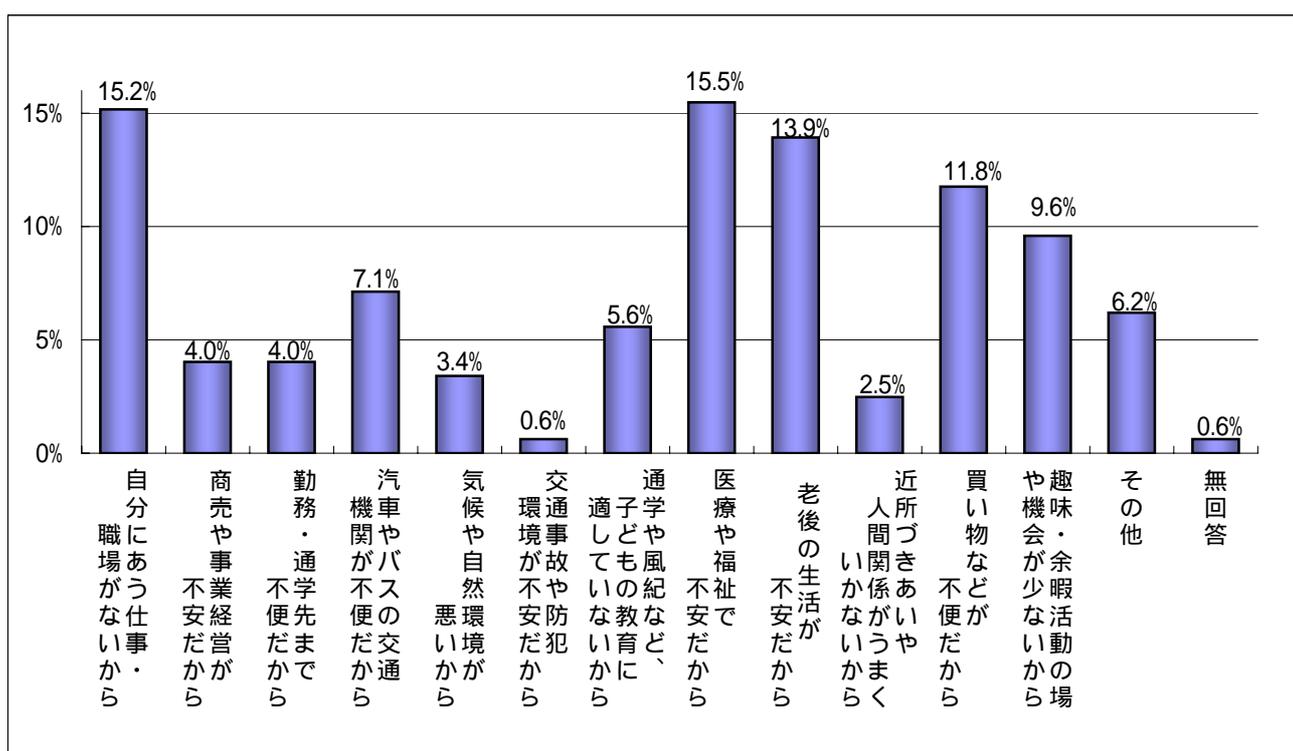
【問4】 ウ - 1 住み続けたい理由

住み続けたい理由としては、「気候や自然環境が良いから」という回答が30.1%と最も多く、次いで「近所づきあいや人間関係で安心できるから」が21.4%、「自分にあう仕事があるから」が12.3%となっている。「その他」の理由では、「生まれ育ったまちだから」という回答が多かった。



【問4】 ウ - 1 転出したい理由

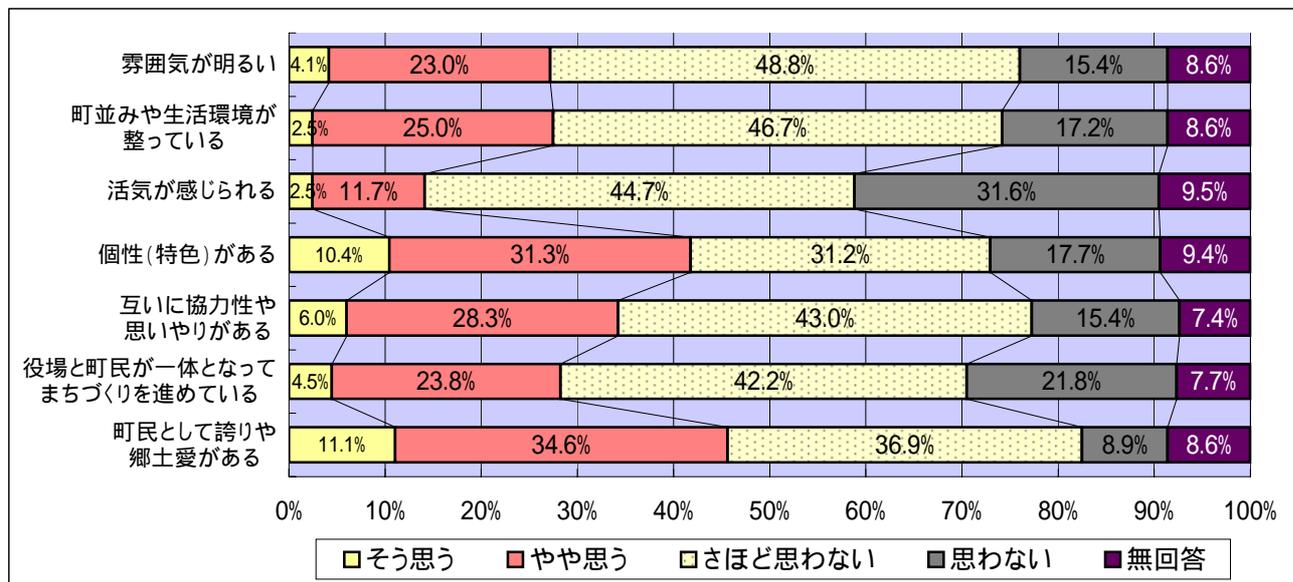
転出したい理由としては、「医療や福祉で不安だから」という回答が15.5%と最も多く、次いで「自分にあう仕事がないから」が15.2%、「老後の生活が不安だから」が13.9%、「買い物などが不便だから」が11.8%となっている。これは、問2の生活に関する満足度で「不満」と答えた割合とほぼ同じ内容になっている。「その他」の理由では、「閉鎖的な地域だから」という回答などがあつた。



§ 5 【厚岸町の現状と目指す姿】

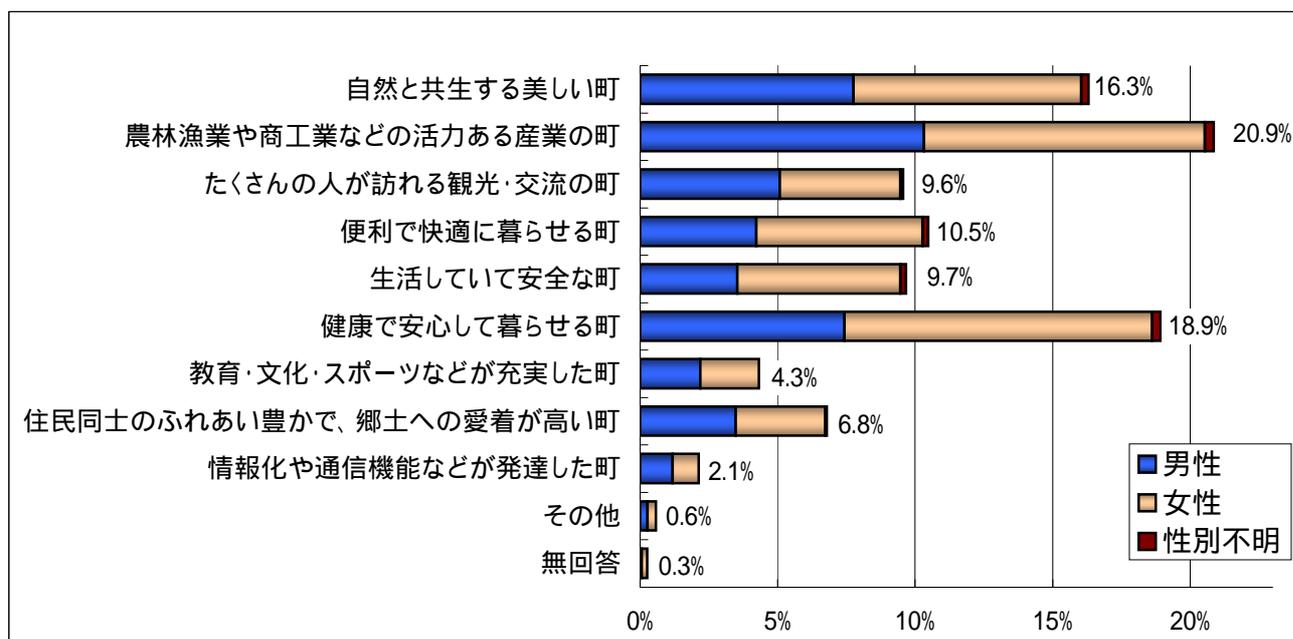
【問5】 現在の厚岸町をどのように感じていますか

全ての項目において、「思わない」と「さほど思わない」を合わせた割合が、「思う」と「やや思う」を合わせた回答を上回っている。特に、「活気が感じられる町」の項目では、76.3%の人が「感じられない」と回答している。「町民として誇りや郷土愛がある町」の項目では、わずかに「思わない」と答えた割合が上回ってはいるが、ほぼ同じ割合となっている。



【問6】 今後の厚岸町を考えると、どのような町になってほしいと思いますか。(3つまで選択)

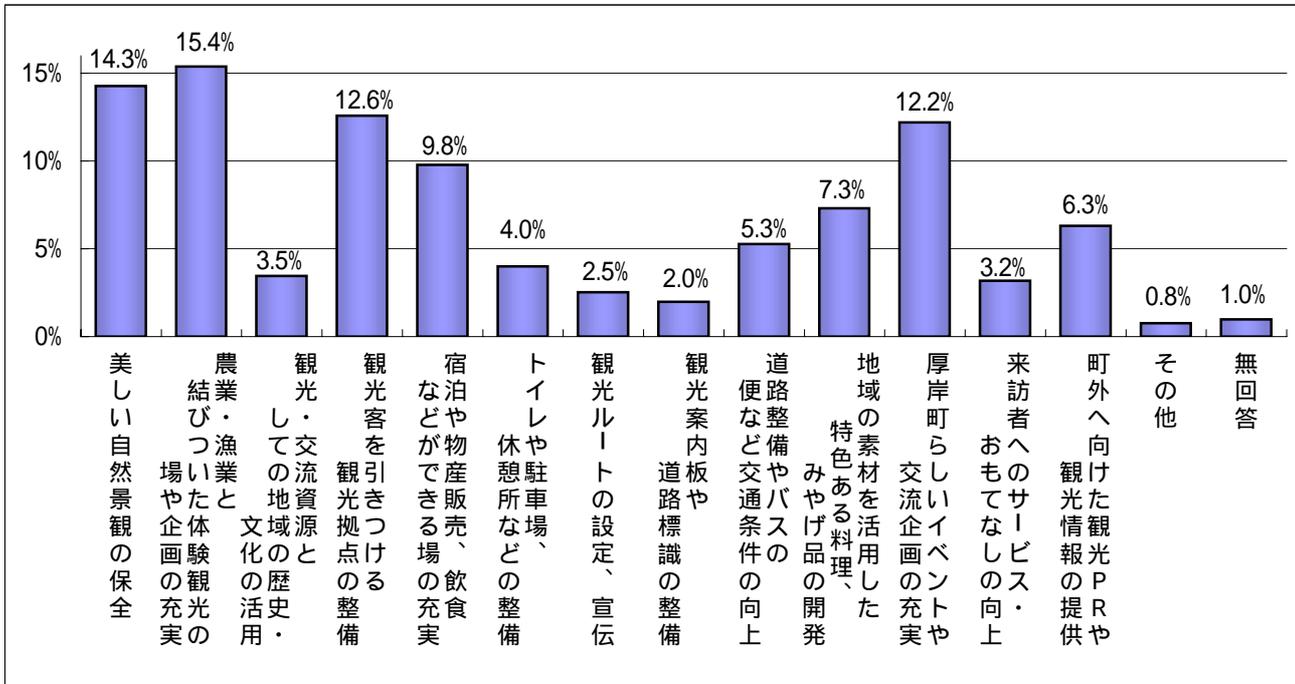
「農林漁業や商工業などの活力ある産業の町」と回答した人が20.9%と最も多く、次いで「健康で安心して暮らせる町」が18.9%、「自然と共生する美しい町」が16.3%となっていることから、産業の振興、医療や福祉の充実、自然環境保全に対する取組が求められていることがうかがえる。逆に「情報化や通信機能などの発達した町」、「教育・文化・スポーツなどが充実した町」が低い割合となっている。性別で見ると、男性は「活力ある産業の町」が最も多く、女性では「健康で安心して暮らせる町」が最も多くなっている。



§ 6 【分野ごとの優先施策】

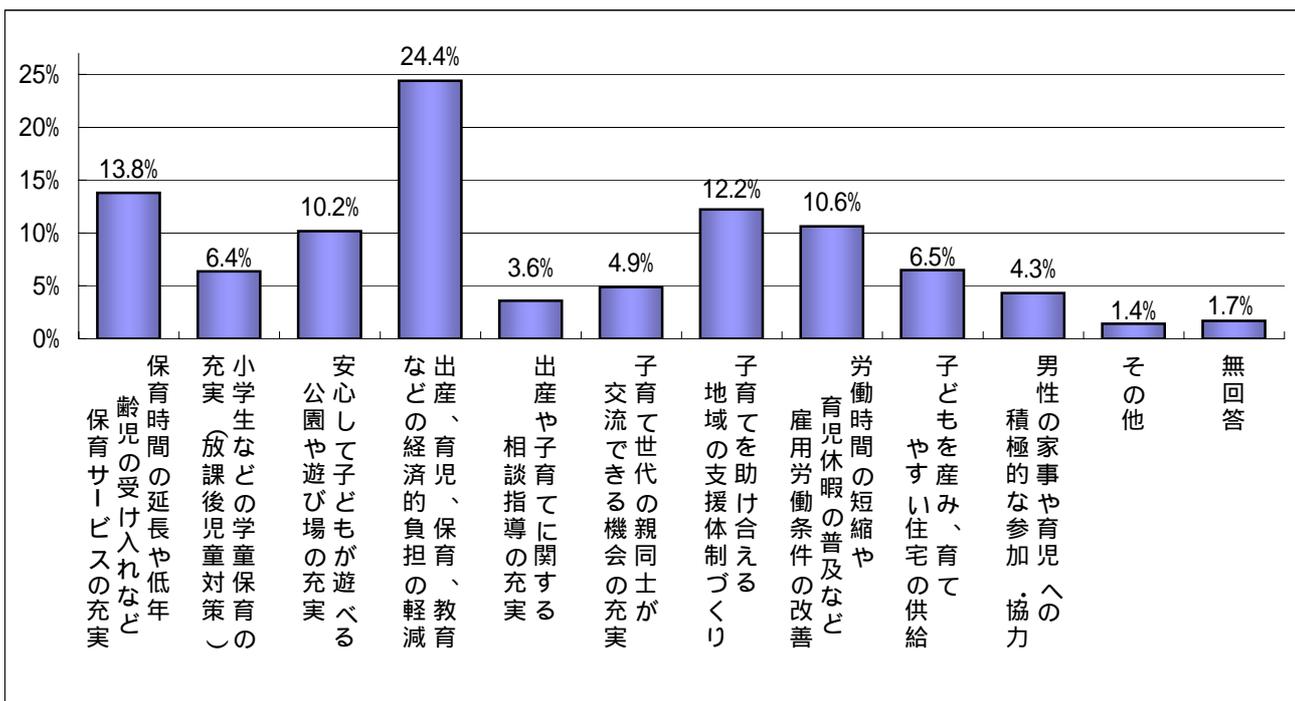
【問7】 厚岸町の観光・交流の振興に向けて、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで選択)

観光・交流の振興において重要な施策としては、「農業・漁業と結びついた体験観光の場や企画の充実」が15.4%、「美しい自然景観の保全」が14.3%と高い割合になっており、基幹産業との連携や自然景観を活かした事業展開が求められていると推測される。次いで「観光客を引きつける観光拠点の整備」が12.6%、「厚岸町らしいイベントや交流企画の充実」が12.2%となっている。



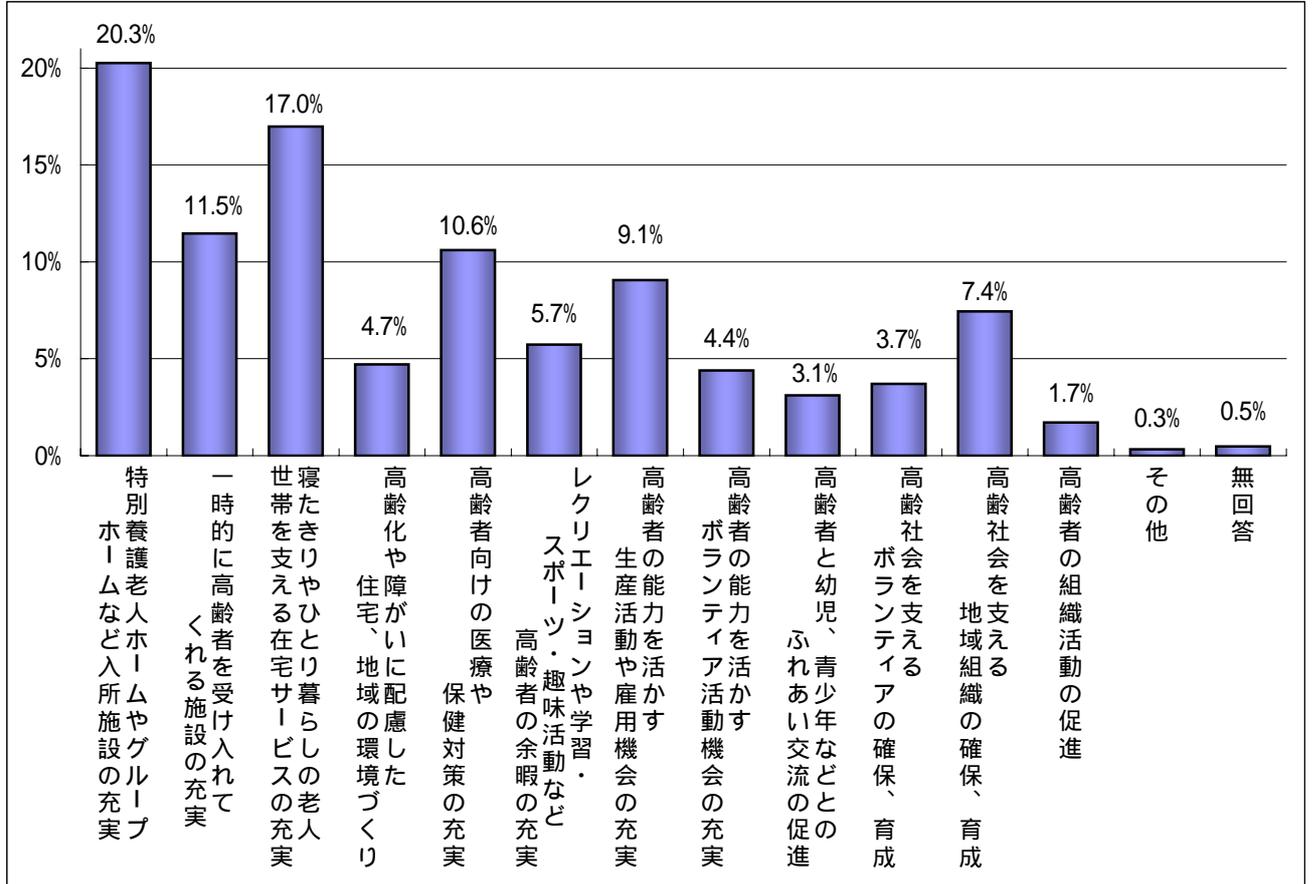
【問8】 厚岸町の少子化対策として、今後どのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(3つまで選択)

少子高齢化対策において力を注ぐべき施策としては、割合の高い順に「出産・育児・保育・教育などの経済的負担の軽減」24.4%、「保育時間の延長や低年齢児の受け入れなど保育サービスの充実」13.8%となっており、いずれも直接的な子育てへの支援を求める回答が多い。次いで「子育てを助け合える地域の支援体制づくり」12.2%、「労働時間の短縮や育児休暇の普及など雇用労働条件の改善」10.6%、「安心して子どもが遊べる公園や遊び場の充実」10.2%となっている。



【問9】 厚岸町における高齢者の福祉と生きがいを高めていくために、今後どのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(3つまで選択)

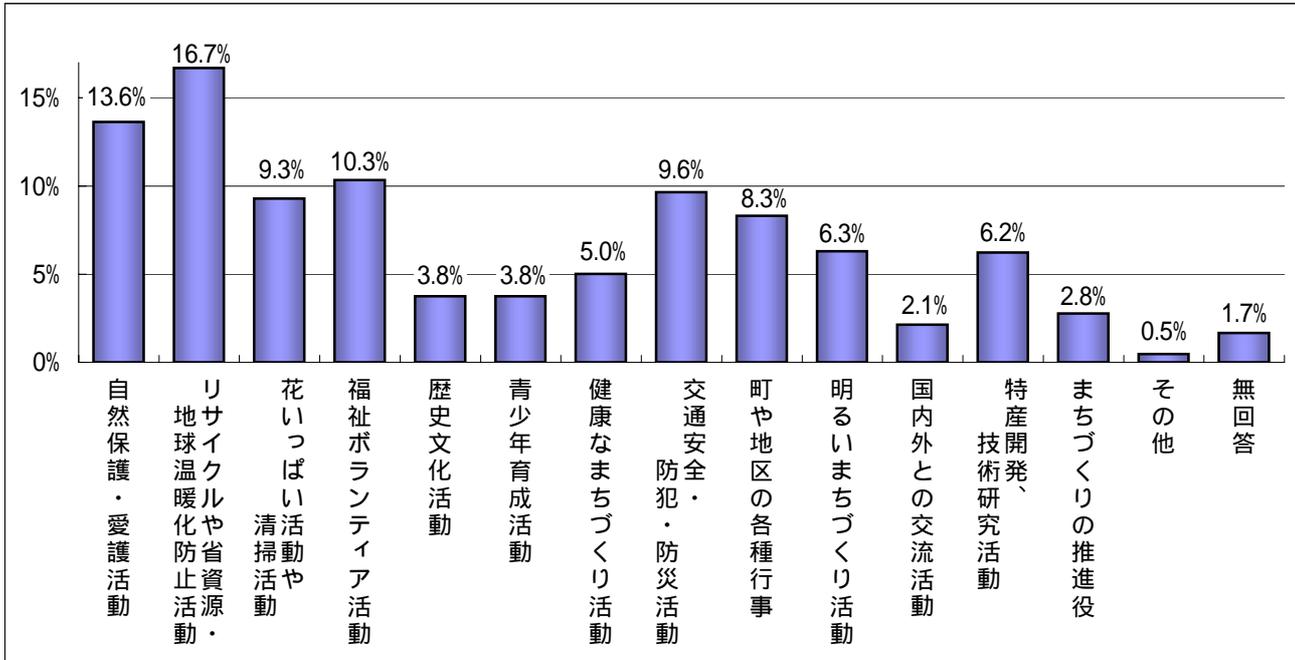
高齢者の福祉と生きがいを高めていくために力を注ぐべき施策としては、「特別養護老人ホームやグループホームなどの入所施設の充実」が20.3%と最も多く、次いで「寝たきりやひとり暮らし老人世帯を支える在宅サービスの充実」が17.0%、「一時的に高齢者を受け入れてくれる施設の充実」が11.5%となっており、高齢者を介護する施設・サービスの充実に関する割合が高い。



§ 7 【協働に関する意向】

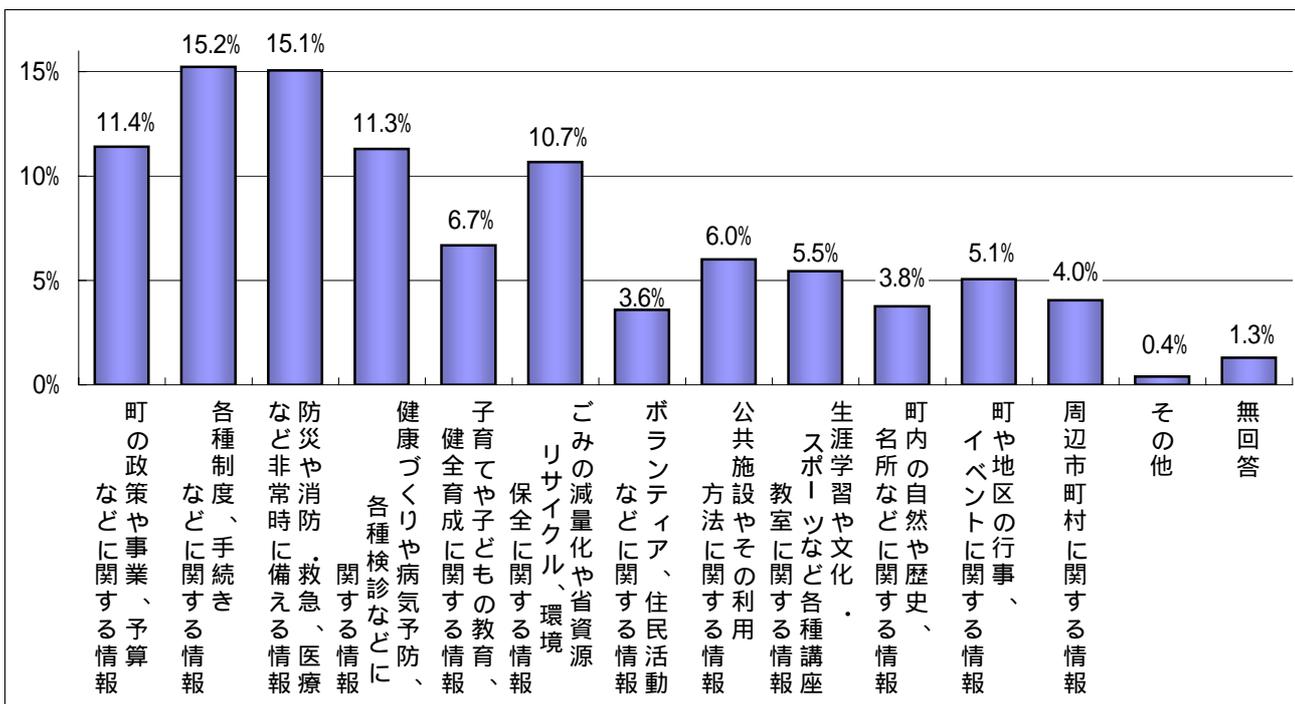
【問10】 現在活動しているものも含め、どのような活動に参加したい(できる)と思いますか。(3つまで選択)

現在活動しているものも含め、参加したい活動としては、「リサイクルや省資源・地球温暖化の防止活動」が16.7%、「自然保護・愛護活動」が13.6%と高い割合になっており、環境問題への関心の高さがうかがえる。そのほかの項目は分散される結果となっている。年代別では、29歳以下で「町や地区の各種行事」が、30歳から69歳では「リサイクル活動や省資源・地球温暖化防止活動」、70歳以上では「交通安全・防犯・防災活動」の割合が高くなっている。



【問11】 まちづくりや地域に関するどのような情報がほしいと思いますか。(3つまで選択)

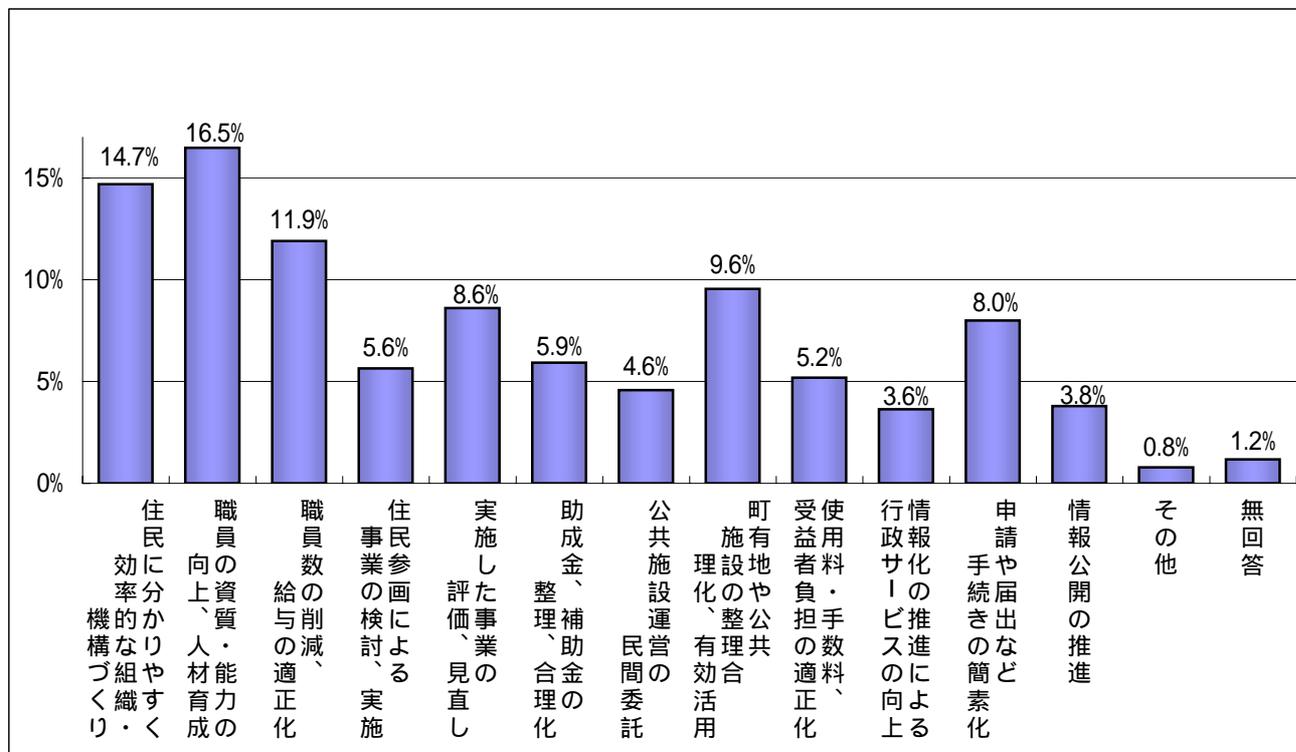
まちづくりや地域に関する必要な情報としては、「各種制度・手続きなどに関する情報」が15.2%、「防災や消防・救急・医療など非常時に備える情報」が15.1%と、この2項目の割合が多くなっている。次いで「町の施策や事業・予算などに関する情報」が11.4%、「健康づくりや病気予防・各種検診などに関する情報」が11.3%、「ごみの減量化や省資源・リサイクル・環境保全に関する情報」が10.7%となっており、そのほかの項目については10%を下回っている。



§ 8 【行政運営に関する意向】

【問12】 今後、行政サービスや財政運営で役場が特に進めていくべき事項は何だと思えますか。(3つまで選択)

行政サービスや財政運営で役場が特に進めていくべき施策としては、割合の高い順に、「職員の資質・能力の向上・人材育成」が16.5%、「住民に分かりやすく効率的な組織・機構づくり」が14.6%、「職員数の削減・給与の適正化」が11.9%となっており、町職員に関する注目が高くなっている。





新たな総合計画策定のための
町民意識調査 結果概要

厚岸町 まちづくり推進課

〒088-1192
厚岸郡厚岸町真栄3丁目1番地
電話：0153-52-3131